

## ①石田地蔵

石田地蔵と呼ばれる手彫りのお地藏様を佐和山城下の領民たちは、井伊家に隠れ祀っていた。佐和山城が東軍の総攻撃を受けて落城したのは慶長5年の9月18日。天守に籠城していた城下の婦女子たちは逃げ場を失い、だれ彼となく、天守東の深い谷に身を投じた。その折の絶命迫る喚き苦しむ声が、三日三晩も続き、麓の領民たちの心を痛めたと言う。佐和山城下の領民たちは、城を枕に果てた石田家中の魂を慰めるため、入山禁止となった佐和山に忍び込み、または自分の家で密かに手彫りの石地藏を祀ったのだ。

しかし、新たに領主となった井伊家は、前の領主であり、敵方であった石田家に対する領民たちの思いを一掃するため、石田家中を供養することさえも禁じたのである。

「隠し祀る石田地蔵、すべからく差し出すように」と

この井伊家による『地藏狩り』によって集められた石田地蔵が、仙琳寺山門脇の雑木林に並んでいる。奇しくも佐和山を背に彦根城を見下ろすような位置で。四百数年という過ぎ去りし年月は、さらにこの石地藏を摩滅させ、語り継がなければ、地藏狩りに遭った石田地蔵さんだとは忘れ去られてしまうことだろう。  
(文責・田附清子)

## ②清涼寺の七不思議

うなる門…大晦日の晩にうなる門

晒しの井戸…裏山の井戸で、この水によごれものをつけておくと美しく洗われる

血の池…佐和山落城の時生首を洗った池

木娘…本堂前にある五百年余のタブの大木が娘に化ける

黒雲の怪…彦根城で武具の虫干しをすると佐和山から暗雲が走り雨を降らす

ひとり鳴る太鼓…不吉なことがあると本堂の太鼓がひとり鳴る

小姓の出現…書院の手水石は三成時代のもので、暗闇の中から小姓が出てきては水を汲んでくれる

(清涼寺パンフレットより転載)

創設当初の山門は、佐和山城の城門だった。その山門が大晦日の晩になると風もないのにならうという。

晒しの井戸の水は、茶の湯に使われていたほどの名水であった。不思議なことにこの水に汚れものをひと喚つけておくと、きれいに洗われているというのだ。汚れは、この水で流すというのか…

墓地の一角にある池は、夕暮れになると赤く染まり、女の人の顔を映し出すという。落城時、投身した城中の婦女子の流した血が浸み込み、この池に湧き出ているのだともいう。

江戸時代、境内座禅堂前のタブの木が夜な夜な娘に姿を変えたのだという。やはり、落城時に命を落とした城中の婦女子たちの無念がタブに姿を借りて現れてきていたのかもしれない。その後、住職の法力により封じ込められ、娘に姿を変えることはなかった。

清涼寺とは直接関係のないことだが、彦根城の鐘の丸で、関ヶ原合戦の時の武具や旗指物を虫干しすると、佐和山から暗雲が立ちこめ、一陣の風となって、虫干ししていた武具等を琵琶湖に飛ばしてしまったのだという。

今も本堂に吊るされている古い太鼓の革は、破れたままである。不吉な知らせをひとりでに喚んで知らせる太鼓も現代では無用の長物なのかもしれない。創設当初、まだ残されていた三成時代の建物を書院として使っていたが、その書院の手水鉢の水をどこからともなく来た小姓が約で汲んでくれたのだという。すぐにその小姓はいずることなく姿を消した。秀吉に見出される前、寺小姓をしていた三成の化身だったかもしれない。

そして、もうひとつ、七不思議の八つめの不思議がまだある。

嶋左近の屋敷の材を再利用して建てた方丈の間の床の間の壁に月影が映し出されるという。何度も壁を塗りなおしたが、消えることのない月影。近世までこの月影はこの壁に映し出されていたが、当時の住職の法力によって消えたのだという。

滅ぼされた三成ら石田家中を思う人々の哀切の想いが、悔恨と共にこのような不思議を生み出したのかもしれない。

(文責・田附清子)

義に生きたる石田三成公

『大一大万大吉足跡図』

VOL1

石田三成生誕450年祭  
実行委員会

イラスト 勝康





(1) 仙琳寺(せんりんじ)  
山門脇の雑木林の中に並ぶ十数体の石地藏は井伊家の命によって集められた石田地蔵①である。この寺は三成の茶室があった場所で、本堂裏の竹藪には、三成が茶の湯のための水を汲んだと言われる井戸が今も枯れずに残っている。



(2) 清涼寺(せいりょうじ)  
三成の正室と鶴左近の屋敷地であった。境内座禅堂前の梅とタブの古木は左近お手植えとも言われている。この寺に伝わる七不思議②は佐和山落城の悲話を今に伝えている。また、寺域には井伊家四代藩主直興が建立した「石田群霊碑」がある。



j) 近江鉄道 鳥居本駅



k) 中山道・彦根道の道標

- a) 湖東焼窯場跡
- b) 三光の滝・三成屋敷の碑
- c) 百間橋の碑
- d) 湖東焼窯元・絹屋半兵衛の家
- e) 彦根城
- f) 芹川けやき道
- g) 街の駅・カ石
- h) 街の駅・戦国丸
- i) 近江鉄道・ひこね芹川駅
- j) 近江鉄道・鳥居本駅
- k) 中山道・彦根道の道標
- l) 佐和山トンネル
- m) 佐和山登城口・東山ハイキングコースC
- n) 松縄手坂下地蔵と石田地蔵



a) 湖東焼窯場跡



b) 三光の滝 三成屋敷の碑



船つき場跡



c) 百間橋の碑



d) 湖東焼窯元・絹屋半兵衛の家



(14) モチノキ谷・三成御殿跡  
三成御殿があった所で、書院の庭にあったモチノキから後世「モチノキ谷」と呼ばれるようになる。大手側と同様、土塁、内堀の遺構を見ることができ、「御殿道」「御殿畑」と言う古い呼称を持つ。



(13) 佐和山城大手口  
佐和山城の大手門(現宗安寺山門)があったと伝わり、土塁・内堀などの遺構を見ることができ、田畑の中央を通る鉤型に折れたあざ道は、当時のままの大手道の名残を残す。



(12) 専宗寺(せんしゅうじ)  
中山道沿いにあるこの寺は聖徳太子縁の寺である。山門脇の太鼓門(二階建の門)の天井板は、佐和山城の櫓手門脇門の扉板だったと伝わる。三成を慕う足軽⑧が落城最中の佐和山城から運び出したものだという。



(11) 妙源寺(みょうげんじ)  
佐和山城の裏鬼門に位置するこの寺は、蓮成寺と同じく法華丸を移した寺だと伝わる。朱塗りの山門は、佐和山城の城門であったと伝わり、柱には無数の矢穴痕を残している。改築前の本堂と庫裏は、三成の佐和山御殿を移築したとも言われていた。



(3) 「太閤の...」あり、...に三...。三成...の寺の...利山...



n) 松縄手坂



開国 NPO法人小



(10) 関ヶ原...ある...の梅...た。



(3) 龍潭寺(りょうたんじ)  
玄關の梁に吊るされた鐘は佐和山城の降鐘であり、本堂につづく廊下の板が描かれた板戸は三成屋敷で使用されていたものだと言われる。三成の遺墨「残紅葉」③、田中吉政の末裔が奉納した頭巾を被っている三成の肖像画はこの寺の什宝である。(拝観料400円)※佐和山登山口・東山ハイキングコースB



(4) 長寿院・大洞弁才天(ちょうじゅういん・おおほらべんざいてん)裏参道中腹に建つ経蔵には百間橋の残材を用いて作られたのが始まりだと言われる大黒天像が納められている。「彦根風土記」(三浦孝賢著)によると、この大黒天像は三成の顔に似せて作られたのだと言う。経蔵の御開帳は春と秋の大祭の時だけである。※佐和山登山口・東山ハイキングコースA



(5) 一本松供養塔(いっぽんまつくようとう)福島次郎作⑤という佐和山城留守居役の家臣がいた。勇敢にも東軍に矢を射かけ善戦したが及ばず、大洞の経蔵付近で自害する。その福島次郎作の供養のために塚を築き、一本の松を植えたという。後の元禄期、大坂の陣で亡くなった人々の供養の石塔がここに建立された。



① 松浦手坂下地蔵と石田地蔵



② 近江鉄道ひこね芹川駅



(6) 開国記念館(かいこくきねんかん)彦根城佐和口多聞櫓を資料館にしている。ここでは彦根の町の歴史が源始・古代より時系列で知ることができる。(拝観無料)



(7) 彦根山(ひこねやま)平安時代より観音信仰で有名な彦根寺があった。井伊家入封後、この山に城が築かれる。金龜山(こんきやま)とも呼ばれる。(入山料500円)



(10) 長久寺(ちょうきゅうじ)関ヶ原合戦後の佐和山城攻めの時、家康が本陣を置き、落城の様子を見ていた平田山麓にある寺で、落城を見届けた家康が、境内にある菩提観お手植えの紅梅を見たことから、この梅の古木が「御覽梅」と呼ばれるようになった。



(9) 蓮成寺(れんじょうじ)佐和山城の法華丸の移した寺であると伝わる。この寺に安置されている「鬼子母神像」は三成の念持仏だとされている。彦根城下足軽屋敷中敷組に位置するこの寺の周辺は、どんつき・くいちがいなど城下町の特徴を残す。



(8) 宗安寺(そうあんじ)通称「赤門」で有名なこの寺の山門は、佐和山城の大手門を移築したものだと言われ、代々住職口伝で伝わる。三成が母の菩提を弔うために佐和山城下に建立した瑞岳寺⑥に安置されていた石田地蔵尊・千駄仏が、今この寺に安置されている。(拝観料200円)

**彦根河原郵便局**

彦根市河原二丁目4-2  
(花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-23-6905  
【営】郵便9:00~17:00  
為替貯金9:00~16:00  
【休】土・日・祝日  
●50円葉書お買い上げいただいた方に、彦根河原局の「風景印」押させていただきます。



**戦国丸**

彦根市河原三丁目4-36 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-27-5058  
【営】11:00~18:00  
【休】木  
●コース巡りの方は三成の乱髪甲冑を着て記念撮影を!!足軽甲冑もありますよ!



**義に生きた石田三成公**  
『大一大万大吉 足跡図』  
**協力店舗のご紹介**  
(このマップをご持参いただければ各店舗でサービスが受けられます。)

**ラーメン三幸**

彦根市芹町8-30 (花しょうぶ通り東)  
【電】0749-24-6196  
【営】昼11:00~14:00 夜18:00~明け方  
●「激闘左近ラーメン」通常750円をコース探訪中の方は650円にいたします。



**一志郎齋**

彦根市本町1-6-22  
【電】0749-24-6711  
【営】10:00~17:00  
【休】水  
●コース巡りの方 義助の家紋も簡単に入るオリジナル湯呑絵付け体験が1000円で出来ます。



**ナチュラルスイーツと旅のお茶 \* Ruwam \***

彦根市河原二丁目3-6 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-27-2810  
【blog】blog.goo.ne.jp/aci-moki  
●コース巡りでマップお持ちの方には大谷吉継出生茶「吉松茶」を470円⇒400円でサービス



**酒肴処林屋**

彦根市本町1-7-37 (夢京橋キャッスルロード)  
【電】0749-22-2737  
【営】9:30~19:00  
【休】火  
●ミニ千社札プレゼント(コース探訪中で1000円以上お買い上げの方)



**鳥羽や旅館**

彦根市河原三丁目1-23 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-22-0325  
【URL】www.tobaya.jp  
1泊2食@6300円 片泊まり@5250円 素泊まり@4200円  
●コース探訪されご宿泊の方に戦国丸での武将ハンカチ(380円)差し上げます。  
※戦国丸にてお好きな武将のハンカチ選んで下さい。お一人一枚



**本格手打ち蕎麦『文久蔵』**

彦根市沼波町38  
【電】0749-22-7077  
【営】11:00~15:00 (オーダーストップ14:30)  
【休】火 (祝日は営業、翌日休業) 第3週 火・水・木 (3連休)  
●コース巡りでお食事して頂いた方には、蕎麦茶を進呈させていただきます。



**しょうぶ屋**

彦根市河原1丁目3-1 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-22-8413  
【営】10:30~18:30  
【休】水  
●コース探訪中で1000円以上お買い上げの方オリジナル記念品プレゼント。



**清瀬旅館**

彦根市河原二丁目7-10 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-22-0071  
【URL】www.kiyotaki.net  
●宿泊の方は戦国マグカップをプレゼントいたします。



**みやおえん**

彦根市本町 四番町スクエア  
【電】0749-22-0841  
【営】9:00~17:00  
【休】日  
【URL】www.miyaoen.co.jp  
●コース巡りでマップお持ちの方には自家製抹茶ソフトクリーム『三成ソフト』を200円⇒180円にて販売します。



**エコスタイル自転車店**

彦根市河原二丁目4-6 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-26-2901  
【営】10:00~18:00  
【休】不定休  
●「昭和レトロなレンタルサイクル」500円~400円 「MTB・ロード」のレンタルサイクル1500円~1000円にサービス。



**いと重菓舗 本店**

彦根市本町一丁目3-37  
【電】0749-22-6003  
【営】8:30~18:00  
【休】火  
●彦根市本町一丁目3-37コース巡りでマップお持ちの方で3,000円以上お買い上げの方5%引き



**あゆの店『きむら』**

彦根市本町二丁目3-3 (夢京橋キャッスルロード)  
【電】0749-24-1157  
【営】10:00~18:00  
【休】火  
●コース巡りでマップお持ちの方にはお買い上げ3,000円以上で粗品進呈



**いと半老舗**

彦根市河原三丁目1-20 (花しょうぶ通り商店街)  
【電】0749-22-1026  
【営】8:30~18:30  
【休】月 (花しょうぶ通りの本店のみ)  
●500円以上お買い上げの方に150円以下の饅頭1個と四にゃんのシール5枚差し上げます。



**ギャラリー「糸屋 重兵衛」**

彦根市本町一丁目7-41 (夢京橋キャッスルロード)  
【電】0749-22-6003(本店)  
【営】10:00~17:30  
【休】火  
●コース巡りでマップお持ちの方で3,000円以上お買い上げの方5%引き



**お食事処 魚造**

彦根市河原二丁目2-2  
【電】0749-22-0188  
【営】11:00~14:00 16:00~20:00  
【休】日・祝日  
●「真田どん」を650円で提供します



**石田三成印章**



**千成亭別館・華見**

彦根市河原二丁目2-25  
【電】0749-26-4129  
【営】11:30~22:00 (オーダーストップ20:30(14:30~17:00までは準備中))  
【休】水  
●コース巡りでマップお持ちの方でお一人3000円以上ご飲食の方、生ビール1杯又はソフトドリンク1杯をお付けします。



**NPO法人小江戸彦根**

彦根市金亀町7-5ひこね市民活動センター内  
【電】080-1461-4123  
【営】平日10:00~15:00 (1時間に1便)  
土・日・祝日10:00~16:00 (1時間に1便)  
●彦根城お堀めぐりコース探訪中の方乗船料を割引いたします。  
大人: 1200円 を1000円  
子供 (小学生以下): 600円を500円

